



# 創薬科学フロンティア学内シンポジウム

2013年12月7日(土) 11:30~17:10

会場: 愛学館 A31講義室

参加費: 無料

11:30 はじめに 乾 賢一(学長)

11:35 午前部

1. 脂肪肝・肝線維化の新規創薬標的となるIVA型PLA<sub>2</sub>を介した病態発症進展機構 (病態生化学分野)○秋葉 聡、金井志帆、竹内亜美、石原慶一
2. 新しい触媒的環化反応の化学 (薬化学分野)○上西潤一、佐々木 舞、河井伸之
3. 非興奮性細胞におけるカリウムチャンネル選択的スプライシングの役割 (薬理学分野)○大矢 進

13:40 午後部

4. 芳香族アルデヒド*N,N'*-bisamide類が誘起する白血病細胞株の細胞死 (1臨床腫瘍学分野、2薬化学分野)○飯居宏美<sup>1</sup>、山本雄也<sup>1</sup>、田村有加<sup>1</sup>、山田梨絵<sup>1</sup>、吉貴達寛<sup>1</sup>、平野祐和<sup>2</sup>、上西潤一<sup>2</sup>
5. 細胞分裂における熱ショックタンパク質の機能解析 (生化学分野)○柿花采那、中島 萌、久家貴寿、齊藤洋平、中山祐治
6. ヨウ化サマリウムを用いた新規インドール合成法の開発 (薬品製造学分野)○鈴木健司、吉田翔平、土増麗華、藏下敦士、岩崎宏樹、小島直人、山下正行
7. 二価パラジウム触媒を利用した立体選択的な多置換ピペリジン骨格構築法の開発 —ピペリジンアルカロイド(+)-spectalineと*ent*-*iso*-6-spectalineの合成研究— (1薬品化学分野、2信州大院農)○服部恭尚<sup>1</sup>、葛山昌伴<sup>1</sup>、古田善宏<sup>1</sup>、眞壁秀文<sup>2</sup>、廣田 満<sup>2</sup>、小林数也<sup>1</sup>、赤路健一<sup>1</sup>
8. タイ伝承薬を素材としたメラニン生成抑制作用成分の探索 (1生薬学分野、2エヌ・ティー・エイチ研)○松本崇宏<sup>1</sup>、中村誠宏<sup>1</sup>、中嶋聡一<sup>2</sup>、太田智絵<sup>1</sup>、松田久司<sup>1</sup>
9. カルシウム拮抗薬降圧治療の心筋梗塞後リモデリングに与える影響について —自然発症高血圧モデルラットを用いた検討— (臨床薬理学分野)○山本直樹、小原 幸、天野寿洋、清水良介、西村尚子、大東 誠、鳥羽裕恵、中田徹男
10. キラル金(I)触媒を用いたアルキニル基を有するメソ-ジオールの非対称化およびDL-ジオールの速度論的分割 (薬化学分野)○山本正明、上西潤一、植村元一
11. 太田ポンカン果皮抽出物の抗遺伝子毒性 —*in vitro*及び*in vivo*抗変異原性評価— (1公衆衛生学分野、2静岡県立大学)○渡辺徹志<sup>1</sup>、西川太介<sup>1</sup>、蟹江 静<sup>1</sup>、田村友香<sup>1</sup>、河合佑季<sup>1</sup>、長谷井友尋<sup>1</sup>、若林敬二<sup>1,2</sup>
12. Src型チロシナーゼによる細胞分裂制御 (生化学分野)○中山祐治
13. ナガコショウ含有アミド成分の新規生体機能性 (生薬学分野)○松田久司、中村誠宏
14. 3-オキサビシクロ[4.1.0]ヘプタ-4-エン-2-オン中間体の生成-開環を経る骨格変換反応 (薬品製造学分野)○山下正行、三浦拓也、藤岡 咲、竹村直人、岩崎宏樹、小島直人
15. ペプチド・タンパク性医薬品をはじめとする難吸収性薬物の消化管・経粘膜吸収性の改善 (薬剤学分野)○山本 昌、勝見英正、草森浩輔、坂根稔康

教員・大学院生・学部生の皆様 多数ご参加ください。

問合せ先: 創薬科学フロンティア研究センター 上西 潤一(担当: 古関)

E-mail: koseki@mb.kyoto-phu.ac.jp 電話: 587(内線)